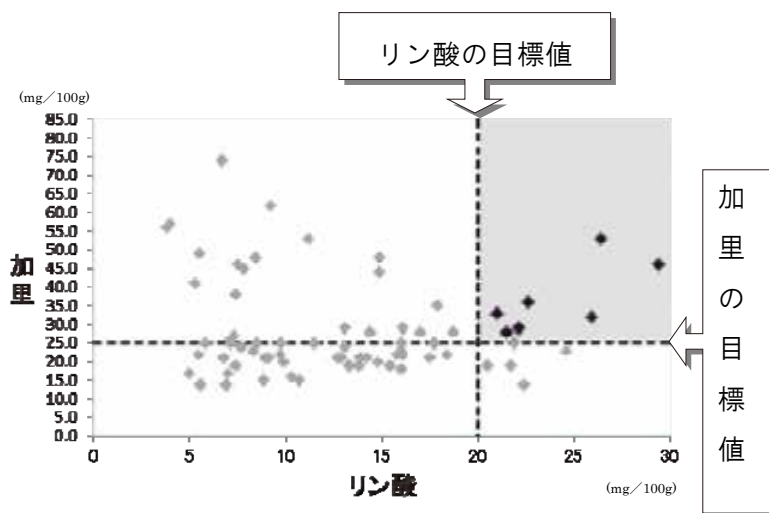


春の土壌改良資材散布

～ミネラルPKでリン酸・加里・カルシウムの補給～

○平成 30 年度土壌分析結果

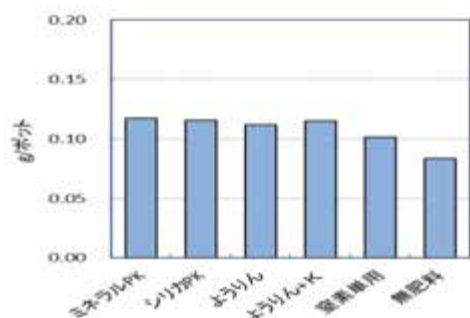


水田土壌の三要素は依然として欠乏しており、平成 30 年度に行った土壌分析の結果（左記参照）からもリン酸・加里が不足していることが読み取れます。リン酸・加里の両方が目標値より多く含まれている土は検体 73 件中 8 件とかなり少ない結果となりました。

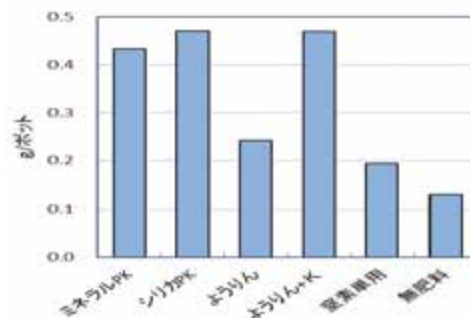
【リン酸】	【加里】
リン酸は根の伸長や分けつを助けるとともに、光合成などで得たエネルギーを作物全体に届け、生長を助ける役割を担っています。	加里は作物のタンパク質や炭水化物の合成を助けるとともに、登熟を向上させ、茎葉を丈夫にします。また倒伏や病害に対して強い稲になるように助けてくれます。

○ミネラルPKでバランスよく補給しよう

リン酸・加里・カルシウムをバランスよく補給するにはミネラルPKが最適です。春の土壌改良資材としてミネラルPK（60kg/10a）を積極的に散布しましょう。（図 1・図 2 参照）



【図 1】水稻のリン酸吸収量比較



【図 2】水稻の加里吸収量比較

また春耕起前にミネラルPKを施用すると収量が多くなり、タンパク質含有量も低くなり、食味も向上します。

試験区	籾重	粗玄米重	精玄米重	タンパク質 (kg/10a, %)
ミネラルPK有	804	642	580	5.7
ミネラルPK無	741	583	546	6.3

ミネラルPK成分表

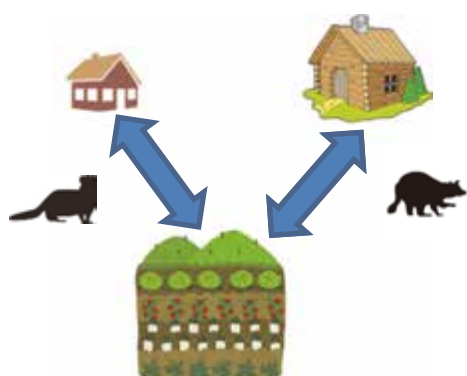
リン酸	加里	K	石灰	水分	窒素	マンガン	クイ酸
20	18	60	280	0.40	0.03	0.30	1.50

身近なことから取り組む獣害対策

○あきらめないで。粘り強く、何度でも対策をしましょう。

有害鳥獣の防除柵としてワイヤーメッシュ柵を設置する方が増えています。日々の点検や管理を欠かさず行うことで、被害発生を抑え、防除効果を持続させましょう。地域一丸となって被害発生を抑制しましょう。

◆設置後も見回り点検を行い、不良箇所は修繕し、獣の侵入を防ぎましょう。



○獣の隠れそうな場所をなくしましょう。

管理されていない竹林・藪や空き家は、獣たちの隠れ場所となります。獣たちに安全な居場所を与えないようにしましょう。

◆竹林や藪は、適宜刈り払い、見通しをよくして、隠れ場所をなくし、空き家の床下・天井を定期的に点検し、獣が侵入していないかを確認しましょう。

○畑に残った野菜や放任果樹は、食べさせないようにしましょう。

畑に作物の取り残しがあると、鳥獣の食料になります。餌場にならないように管理しましょう。

◆獣のエサにならないように、農作物は必ず収穫しましょう。果樹は伐採や枝の剪定を行い、実がつかないようにしましょう。



○鳥獣対策は、農家だけの問題ではありません。地域全体の重大な課題です。

有害鳥獣は、水田だけに出没するわけではなく、エサを求めてさまざまな場所に出没します。被害は農作物のみならず、家庭菜園への侵入や自動車との衝突など、地域の皆さんの生活の中でも遭遇する身近な課題と言えます。

◆イノシシ・ニホンジカについての生態、防除対策を学習しましょう。